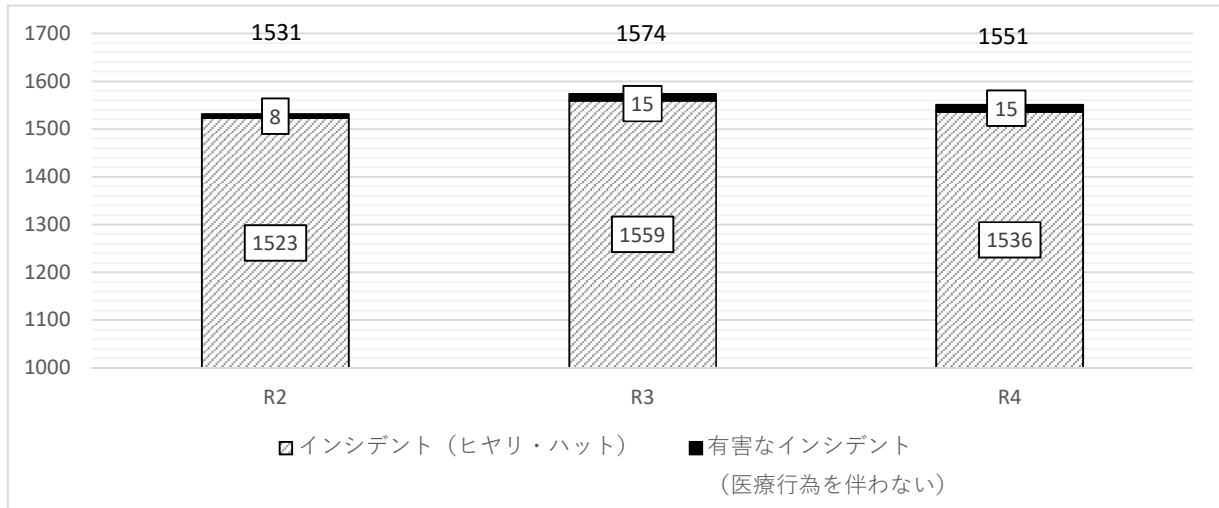
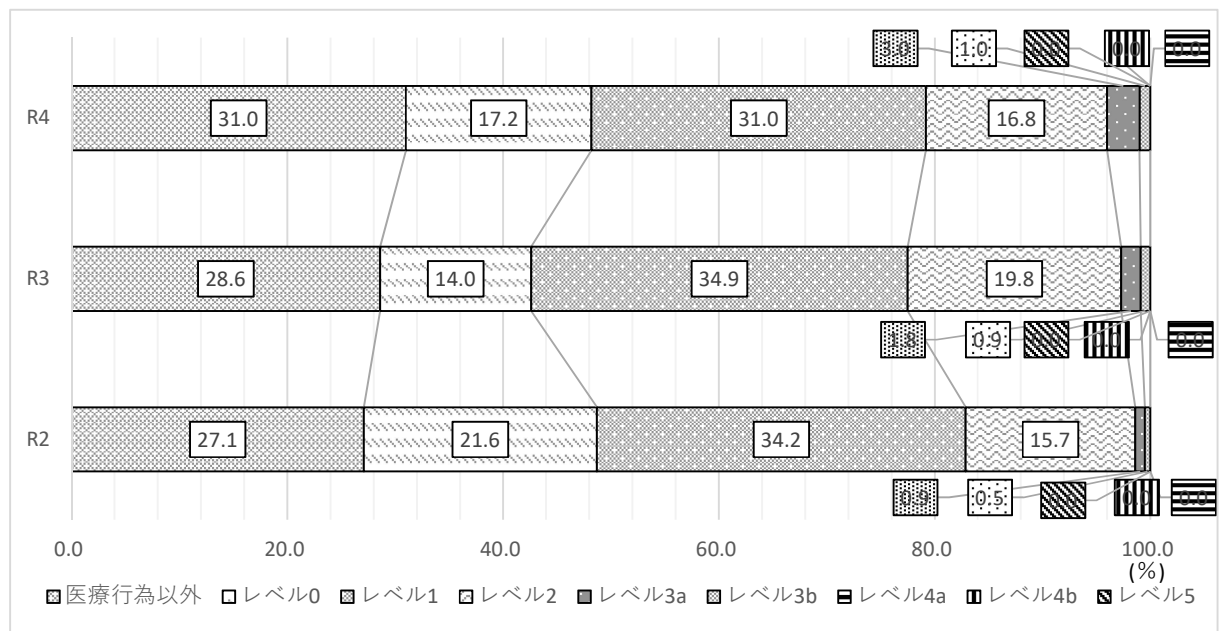


令和5年度インシデント報告（令和4年度実績）

1 インシデント報告数内訳



2 インシデントレベル別報告割合



○インシデントレベル区分

区分	レベル	傷害の 継続性	傷害の 程度	傷害の内容	(参考) ※損傷レベル分類		
					6	UTD	記録からは判定不可能
有害な インシ デント	5	死亡		死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）	5	死亡	転倒による損傷の結果、患者 が死亡した
	4b	永続的	中等度 ～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障 害や美容上の問題を伴う	4	重度	手術、ギプス、牽引、骨折を 招いた・必要となった、また は神経損傷・身体内部の損傷 のため診察が必要となった
	4a	永続的	軽度～ 中等度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機 能障害や美容上の問題は伴わない			
	3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの 高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延 長、外来患者の入院、骨折など）			
イン シデ ント （ヒ ヤリ ・ハ ット）	3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚 の縫合、鎮痛剤の投与など）	3	中軽度	縫合、ステリー・皮膚接着 剤、副子が必要となった、ま たは筋肉・関節の挫傷を招い た
	2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、 バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査 などの必要性は生じた）	2	軽度	包帯、氷、創傷洗浄、四肢の 拳上、局所薬が必要となっ た、あざ・擦り傷を招いた
	1	なし		患者への実害はなかった（何らかの影響を与え た可能性は否定できない）	1	なし	患者に損傷はなかった
	0	-		エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られ たが、患者には実施されなかった			
	医療行為 以外			医療行為を起因とせず発生したもの			

※一般社団法人日本病院会QIプロジェクト 年度別指標一覧2022年度一般病床No.4c入院患者の転倒・転落
による損害発生率（損害レベル4以上）から引用したものです。